

すまいの部会(平成26年7月～平成26年9月)

部会開催 平成26年7月31日

1. DVDの活用状況(平成26年7月～平成26年9月)

	相談時利用	研修等利用	個人・団体貸出	複製
障がい福祉課	0	0	0	0
春日苑	0	0	0	0
しゃきょう	0	0	0	0
かすがい	0	2	0	0
JHN まある	0	2	0	0
あつとわん	0	0	1	0
中部大学 向研究室	0	0	0	0
合計	0	4	1	0

【感想等】

- ・入所での仕事が長く、障がいを持つ人が1人で生活していくということについてはイメージがつきにくかったが分かりやすかった。
- ・住居は誰もが当たり前必要で、たくさんの選択肢から希望のものを自分で選べるように、地域の社会資源がその選択を拒否することがないように、自分には何ができるのかを考え続けたい。
- ・春日井市の取り組みを知るきっかけになった。実際、映像を観ることで、イメージが持てた。

1. 啓発グループの報告

- ・すまいのDVD第2弾「施設編」制作中。
- ・各施設の見学、撮影は予定通り終了した。
- ・改修工事等、施設側の都合で撮影ができないところもあり、写真等を用いて編集する部分もある。

2. 体験グループの報告

宿泊体験の実施

- ① 7/12～7/13 本人1名、学生1名、親1名
- ② 8/30～8/31 本人2名、学生2名、親1名
- ③ 9/27～9/28 本人2名、学生2名、親1名

3. その他

- ・4月より宿泊体験を繰り返しているが、支援者が少ない事、支援者の都合などで日程が決まること、利用者同士の相性も重要であるため誰でも良いというわけにもいかず、体験希望者を募り定期的を実施することが進まない。
- ・体験活動には親の協力が必要となるので、親が元気であるうちに宿泊（生活）体験をしたほうが良いということをつかっても、参加することに消極的になる。
- ・制度にとらわれず地域での暮らしを考えるためにすまいの部会を立ち上げ、当事者・家族・支援者への情報発信・啓発を目指しているが、実行できた情報発信はDVD作製だけである。事業所連絡会のハートフル講座のような支援者の掘り起こしにつながる活動が必要と考える。
- ・今後、DVDの活用も含めて情報発信・啓発の方法を検討する必要がある。